

徳島県立小松島西高等学校勝浦校 第1回学校運営協議会 概要

委員の皆様からの提言等

- マーマレードの成果を生徒の自信につなげたい。とくしま特選ブランドについて、成果が形になれば生徒のやる気も変わってくると思われる。さくらメールでの欠席連絡は働き方改革に役立っている。
- 町役場のインターンシップについて説明。ライフル射撃部の成績はすばらしく、部として勝浦中学校の生徒との交流を実現してほしい。さくらメールは県で導入しているのか？小中学校でも導入が進んでいる。
- マーマレードをぜひ勝浦町道の駅でも販売してほしい。勝浦町は最近事故が多いので生徒の皆さん気をつけてほしい。今後もヘルメット着用を推進してほしい。
- 民芸部の活動もすばらしい。勝浦町にとってなくてはならないものになっている。ヘルメット着用率が伸びない中、43.5%（県の高校生の平均は9.6%）は非常によい数字である。
- マーマレードの安定供給に向けて、授業での取組等工夫できないか。
- 民芸部は今年度男子が非常に多く入部している（男子7、女子1）。理由をリサーチしてほしい。生徒は自分でよく考えて活動している。
- 体験入学では、ライフル射撃部と民芸部で迷っている中学生も多いようである。マーマレードの空港での販売についてより詳しく教えてほしい。

高校魅力化についての提言等

○成功体験を自信につなげる地域ブランド化	<ul style="list-style-type: none">・マーマレードの成果を生徒の自信につなげ、「とくしま特選ブランド」入りなど成果を形にすることで生徒のやる気を向上させること。・マーマレードを勝浦町道の駅や空港などでの販売を要望・提案。
○ユニークな部活動の活用と広報	<ul style="list-style-type: none">・ライフル射撃部の素晴らしい成績や、勝浦町にとって不可欠な存在となっている民芸部の活動を評価し、積極的にPRすること。・体験入学ではライフル射撃部と民芸部で迷う中学生も多い。
○自主的な活動と学びの機会	<ul style="list-style-type: none">・民芸部に男子が多く入部している理由をリサーチすること。生徒が自分でよく考えて活動していることを評価。